

文型で話す・書く (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 見かけた出来事としてもらったことを、知覚動詞・使役動詞の枠で伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

Last Sunday I saw a small boy help an old woman with her bags.

先週の日曜、小さな男の子がおばあさんの荷物を手伝っているのを見た。

I had my hair cut before the school festival.

文化祭の前に髪を切ってもらった。

That day made me want to do something for someone, too.

あの日、ぼくも人のために何かしたいと思った。

型で書く 型で書く一見たこと・してもらったこと・その先 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、動詞のうしろの形だけをチェックし合おう。気づき: (1)のうしろは原形でも -ing でもかまいません—原形なら一部始終、-ing ならその途中を見たことになります。

(1) Last week I saw _____ . 見かけた出来事 (人+その人がしていたこと)

(2) I had my _____ . してもらったこと (もの+過去分詞)

(3) It made me _____ . そのとき思ったこと

ペアで話す ペアで話す—「見たこと」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Really? What happened? を1回は返す。気づき: 質問の see / hear + 人 + 原形 をそのまま借りて答えると、語順が自然に口から出ます。

(1) What is something you saw someone do last week?

先週、だれかがしているのを見たことは?

(2) Have you ever heard someone sing in the street?

路上でだれかが歌っているのを聞いたことは?

(3) What do your parents make you do at home?

家でやらされていることは?

(4) Have you ever had something repaired?

何かを直してもらったことは?

あいづち・返しの型: Really? What happened? Same here. That happens to me, too. Lucky you.

書く 自分の番—60語前後で書く 思考・判断・表現

Write about something you saw or heard last month. (先月、見かけた出来事や耳にしたことについて書く)

①いつ・どこで (過去形) ②だれが何をしているのを見た／聞いたか (see / hear + 人 + 原形 または -ing) ③その場でだれかが何をしてくれたか (make / let / have + 0 + 原形) ④自分はどう思ったか—の4段で、60語前後。第5文型の文を2つ以上入れる。

評価 先生はここを見ます (加点式)

第5文型の文を2つ以上、うしろの形を正しく使えている	+4点
知覚動詞と使役動詞 (または have + 0 + 過去分詞) の両方が入っている	+3点
自分にしか書けない具体がある (いつ・どこで・だれと)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ